

Project for Improving Learning Outcomes through Community Participation for Sustainable School for All (COMPASS)

「ガーナ国みんなの学校：コミュニティ参加型学習改善支援プロジェクト」では、コミュニティの積極的な参画による学校マネジメントの強化と、生徒の学習成果改善を目標としています。

民主的に選ばれた学校運営委員会（SMC）と、SMC連合*が学校や教育事務所と協力し、生徒の学力向上につながる様々な活動を行っています。今回は、その活動のいくつかをご紹介します。

*SMC連合は、SMC同士の協働と、中央・州・郡教育事務所との連携を目的に2022年に設立されました。

プロジェクト実施期間：2020年3月～2024年3月 対象地域：イースタン州、ボルタ州、オチ州

中学校卒業試験(BECE)数学科の試験結果改善のため、中学3年生を対象とした数学の補習が、2023年6月～7月に各校で実施されました。プロジェクト介入以降、2022年から実施されている小学校の算数補習授業と同様に、地域住民がファシリテーターとなって、学校の先生たちと共に生徒の学びをサポートしました。

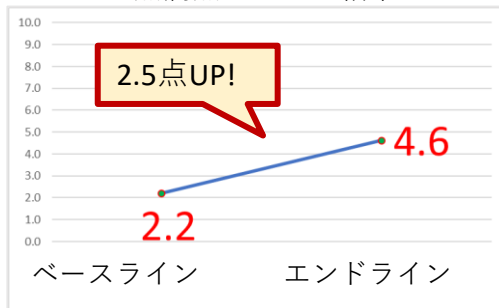
中学3年生 補習授業

学校の卒業生や地域住民が補習授業を行っています。

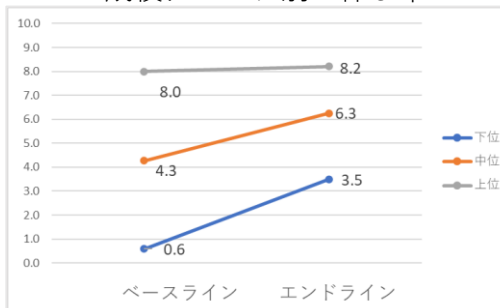
SMCや連合が保護者に募金を募り、補習教材を生徒人数分コピーすることで、より充実した学びの時間となりました。

補習授業を行うファシリテーターの功績を郡が表彰したり、補習授業を行う先生たちに住民が食事や滞在先を提供するなど、地域全体で生徒の学習を支援する動きが各地で見られました。2か月間の補習授業の結果、10点満点の事前事後テストにおいて、3州平均して**2.5点**の改善が見られました。事前テストの成績の上位、中位、下位グループの全て、また、補習に参加した全生徒の**75%**の成績が向上しました。

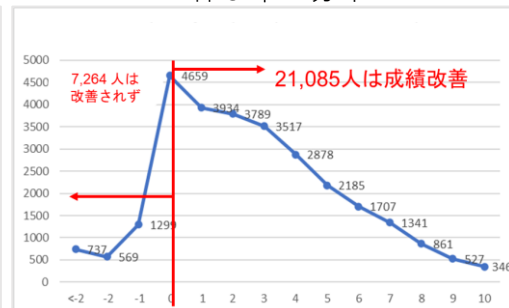
10点満点テストの結果



成績グループ別の伸び率



伸び率の分布



活動 好事例

SMCがメイズやピーナッツを学校農園で育てる⇒売上を校舎の壁の修繕費用に充てる



連合の主導のもと、学校給食を作る地域ボランティア

毎週土曜の朝、保護者に向けた啓発メッセージをラジオ放送する連合メンバー

